

令和元年度 第3回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

令和元年6月26日（水）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所在地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後3時20分

○ 出席委員の氏名

教育長 嶋 公 治

委員（教育長職務代理者） 佐伯 和亜

委員 向井 美紀

委員 飯田 正巳

委員 成田 壽郎

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局 教育次長 堂垣 真弓

教育総務課長 永井 義久

教育総務課参事（給食センター所長） 大谷 康弘

教育総務課参事（文化財室長） 橋本 明宏

こども教育課長 飯塚 智士

こども教育課参事（こども支援センター所長） 川端 美由紀

こども育成課長 木下 直樹

教育総務課課長補佐 木之瀬 晋弥

教育総務課教育総務係長 竹内 有子

事務局以外

生涯学習課参事（図書館館長） 上田 健治

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

成田 壽郎 委員

第2 前回の会議録の承認

令和元年5月17日（金）開催 臨時会

令和元年5月20日（月）開催 第2回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 文化振興課

- (1) Toyooka Art Season 2019 の開催について
- (2) 出石永楽館子ども歌舞伎ワークショップの開催について

第5 議事

- 議案第8号 豊岡市立図書館協議会委員の任命について
- 議案第9号 豊岡市奨学生の選考について
- 議案第10号 豊岡市指定文化財の指定にかかる諮問について
- 議案第11号 令和元年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について

- 報告第3号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について
- 報告第4号 寄附物件の受納について
- 報告第5号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について
- 報告第6号 教育長が臨時に代理した令和元年度6月専決補正教育関係
予算案に関する意見について承認を求めることについて
- 報告第7号 令和元年6月市議会答弁概要について

第6 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

- (1) 教育懇談会の開催について

2 こども教育課

- (1) 問題行動等の状況について
- (2) 令和元年度教科書展示会について
- (3) 令和元年度学校園訪問日程について
- (4) 豊岡市こども支援センター5月の活動状況報告について

3 こども育成課

- (1) 豊岡市子ども・子育て会議委員の交代について

第7 委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午後1時30分

(教育長)

ただ今から、令和元年度第3回教育委員会会議を開会いたします。本日はすべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、成田委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 前回の会議録の承認についてです。令和元年5月17日に開催しました臨時教育委員会会議と令和元年5月20日に開催しました第2回定例教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。臨時教育委員会会議録及び定例教育委員会会議録ともに誤った点、修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回5月20日の定例教育委員会会議から本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告します。

《教育長の報告概要》

5月20日の学校経営研修に出席した。これは、近い将来、管理職を目指そうという人に対する学校経営についての研修である。参加者は、校長候補が7名、教頭候補が10名、合計17名の参加があった。

次に、市政懇談会が始まり、5月21日の出石地区、5月29日の竹野地区で教育委員会に関する質問があった。出石地区では、8月末に行われる市民総参加訓練の児童生徒の参加体制について質問があり、部活動・学校行事等を行わず、参加できる体制にしておくことと回答した。竹野地区では、中竹野地区の区長会長から、中竹野小学校の子どもが減ってきている中で、今後どのような見通しを持っているのか、教育委員会の考えを聞かせてほしいとのことであった。7、8月に各地区で教育懇談会を開催すること、それを受けて審議会を立ち上げること、あわせて中竹野・竹野南・竹野小学校3校の6年間の子どもの数の推移を示した。

次に、5月22日に但東中学校の「ミッション・イン・東京」の視察に初めて行った。その報告書が昨日届いた。子どもたちが「ミッション・イン・東京」を通して、どんなことを感じ、ど

んな成果があったのかがまとめられていて、名所を巡る修学旅行とは違い、この「ミッション・イン・東京」をするまでに8ヶ月をかけ、その部分についても書いてあった。また次のような感想もあった。「前半組と交替して、スタンバイした僕たちの後半組。最初は恥ずかしさで声をかけることができませんでした。そして、やっと声をかけられた人も断られ、心が折れそうになりました。でも、アピールを続けていくうちに断られるのは普通に思えてきて、心に余裕ができました。前半・後半で600人達成できたのでよかったです」と。こんな経験はない、話しかけて断られるとか、もういいとか、無視されるというのは但東では絶対ないことである。この経験をして、こんな環境もあるということ、つまりコミュニケーション教育のスタートである。伝わらないことがある、そのためにどうアピールすればいいのかということが始まる。そのことに気づくことができた、いい取組みだったと改めて思った。

その後、青山学院大学を訪ね、苅宿教授と話をした。概要については、5月の総合教育会議で話したとおりである。繰り返しになるが、非認知能力は16項目あり、その中で学校で向上させやすいものと学校では難しいものがあるので、学校で育つ可能性が高いものをピックアップして、プログラミングしていく、という構成である。しかし、この非認知能力は2つの側面があり、個人がもともと持っているものと、環境の中で身に付けるものがある。スタート時点で子どもが非認知能力を、例えば、がんばり抜く力をどれだけ持っているかを最初に測定する。それから、どういう環境でこれから向上していくかというのは、学級の様子を見なくてはならないので、子どもたちと子どもたち同士、先生と子どもの様子をリサーチしてもらい、両方の側面を重ね合わせて、今こういう力がある、そしてプログラムをやっていくと、どのように変わっていったのかという評価をする、という話を聞いてきたので紹介しておく。

(向井委員)

非認知能力のプログラムができて、演劇的手法のような感じでやっていくということですが、具体的にどういったものかがわからないので、簡単にご説明いただければと思います。

(教育長)

議会でも同様の質問がありました。プログラムはまだできていません。指導してくださる方にイメージを提示し、それを子どもに合わせてブラッシュアップをしていき、3年間でいいプログラムにしていくことになります。

例えば、小学1年生であれば、教室の中にテープを貼り、模擬舞台を作る。そこに入るとなりたい自分になることができる、仮想の自分ができる。例えば、野球選手、ケーキ屋さん、看護師など自分のなりたい職業をそこで演じて、他の子たちがそれを見て当てっこをする、当てっこしたときに自分がどう感じたか、上手にできたかとか、こんなことを言ってもらって嬉しかったという、詳察という作業とセットになっています。

あるいは、小学2、3年生になってくると、同じように舞台を作り、お題は少し難しいが、クリスマス、回転寿司、かまくらなどのお題があり、複数人で集まってそれをどんなふうに表示するのか、どんなメンバーが要るのか、どんな場面をやったら伝わりやすいのかをすり合わせます。その時に他者と自分の考え方が違うとか、自分はこう思うけれども、〇〇ちゃんの見え方のほうがいいから、自分のことは収めようという自己管理能力が伸びたり、そういう要素が生まれるようなプログラムを今、開発しています。

モデル校2校での実施日が決れば、案内をしますので、是非見ていただきたいと思います。

【日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告】

(教育長)

日程第4 地域コミュニティ振興部の報告に移ります。文化振興課からの事業案内になります。補足説明を事務局からお願いします。

1 文化振興課

(1) Toyooka Art Season 2019 の開催について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

Toyooka Art Season 2019 の開催について、資料に基づき説明する。

演劇・音楽・ダンス・美術など多彩なジャンルのプログラムと豊岡の町並み、自然などを通して、豊岡の魅力を（再）発見してもらうためのアートのお祭りである。今年度は6月から9月までの春夏期と10月から2020年3月までの秋冬期の2期にわたって開催する。

(2) 出石永楽館子ども歌舞伎ワークショップの開催について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

出石永楽館子ども歌舞伎ワークショップの開催について、資料に基づき説明する。

昨年度に引き続き、歌舞伎界の第一線で活躍する指導者の稽古を受け、その成果を出石永楽館で発表するワークショップを実施する。感受性や協調性、ふるさとの文化財への誇りを育む機会になると考えている。今年度は小学2年生から中学1年生を対象に、定員20名で募集している。期間は8月7日（水）から8月10日（土）、成果発表会は8月10日（土）午後2時から、出石永楽館で開催予定である。

(教育長)

ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第5 議事】

(教育長)

日程第5 議事に移ります。議案第8号 豊岡市立図書館協議会委員の任命について、議案第9号 豊岡市奨学生の選考については豊岡市教育委員会会議規則第17条により非公開としたいと考えますがいかがでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

では、承認を得ましたので、議案第8号及び第9号につきましては非公開とします。本日は傍聴人がありませんので、このまま会議を進めます。

○ 議案第8号 豊岡市立図書館協議会委員の任命について

【非公開会議】

《 豊岡市立図書館の設置及び管理に関する条例第17条の規定に基づき、豊岡市立図書館協議会委員を任命することについて、生涯学習課参事（図書館長）が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された 》

○ 議案第9号 豊岡市奨学生の選考について

【非公開会議】

《 豊岡市奨学生の選考について、教育総務課長が説明し、審議の結果、平成31（2019）年度の奨学生が決定された 》

（教育長）

以上で非公開議案が終了しました。本日は傍聴人がありませんので、このまま会議を進めます。続きまして、議案第10号 豊岡市指定文化財の指定にかかる諮問について、教育総務課参事文化財室長の説明をお願いします。

○ 議案第10号 豊岡市指定文化財の指定にかかる諮問について

《教育総務課参事（文化財室長）の説明概要》

豊岡市指定文化財の指定にかかる諮問について、資料に基づき説明する。

野々庄区から「旧三野神社伝大般若経」の指定文化財指定申請書が提出され、調査の結果、有形文化財として指定に足ると判断し、豊岡市文化財保護に関する条例第3条の規定に基づき、豊岡市文化財審議委員会に諮問することの是非について意見を求めるものである。

（教育長）

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

（飯田委員）

諮問とは別の質問になりますが、どのように保存される予定ですか。

（教育総務課参事（文化財室長））

条件の良い収蔵庫の中でしばらく保存する予定です。これまでにお預けいただいたときに中を確認してお経を一部展示させていただきましたが、劣化が相当酷く、なかなか展示しにくく、保存をする方向です。

（飯田委員）

文化財に指定したら、きちんと保存しないといけない。行政区にあったものなら区に任せておいたらということもありますが、指定した以上は、きちんと保存して欲しいと思います。

(教育長)

その他ありませんか。

では、豊岡市指定文化財の指定について、豊岡市文化財審議委員会へ諮問することとしてよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、豊岡市指定文化財に指定することについて、豊岡市文化財審議委員会へ諮問することとします。

続きまして、議案第 11 号 令和元年度教育委員会の点検・評価報告書の決定についてです。教育総務課長の説明をお願いします。

○ 議案第 11 号 令和元年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について

《教育総務課長の説明概要》

令和元年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について、資料に基づき説明する。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、平成 30 年度事業の教育委員会の点検・評価報告書案を作成した。前回の定例教育委員会で、外部有識者の総評を除く内容については確認いただいた。外部有識者である佐藤教授の総評では、総括意見、豊岡市の教育に求められるもの、平成 30 年度教育施策の取組みについて、成果があった取組み、改善・見直しが必要な取組み、今後の教育施策の取組みについて意見をいただいている。この内容で決定してよいか審議いただきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(教育長)

前回の定例教育委員会で外部有識者の佐藤教授の総評を除く内容については、認めていただきましたが、それ以降にありました市議会で第 3 次教育プランについて質問がありました。24 ページ「施策⑤ 生命の尊厳を基盤にした人権教育」の「いじめやインターネットによる人権侵害等、今日的な人権課題に対応した人権教育の充実」と「人権尊重の基盤とした社会をめざす教育の推進と家庭・地域・関係機関との連携の推進」の取組みについてです。議員から「人権教育に同和教育あるいは部落差別問題という記述がない」という指摘がありました。「これまでから、兵庫県のやり方あるいは豊岡市のやり方は、同和教育を基幹としながら、そこで見えてきた成果をもとに今日的な課題に取り組んでいる。同和教育という文言はないけれども、軽視しているわけではない」と回答しました。また、「兵庫県に提出する実施報告書にある、同和教育あるいは障がいのある人に対する人権侵害についての学習はすべての学校が行っている」と答弁しました。

そのことを踏まえ、「施策における取組の総括：担当課中間検証」の一部を修正いただきたい

と思います。「ほほえみ」「きらめき」等を年間指導計画に位置付け、同和問題を柱としながら、いじめ、インターネットによる人権侵害、障がいのある人の人権課題等について計画的に指導をしている。また、校内研修を実施し、共生社会の実現に向けて、人権教育資料等を活用し、男女の平等は相互理解、協力を基盤に児童生徒一人一人の個性や能力を生かす教育を推進している」としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、修正をお願いします。

それ以外にも、ご意見等ありましたらお願いします。

(佐伯委員)

51 ページの最後「エビデンスベースで市民に明確に示す」とありますが、これはデータなどをもとにということだと思いますが、この「エビデンスベース」という言葉は広く浸透していて、一般的に理解できる文言でしょうか。誰でもわかるように少し噛み砕いた言い方のほうがよいのではないのでしょうか。

(教育長)

そうですね、では、「根拠を明らかにしながら市民に明確に示す」と修正しましょう。

では、令和元年度教育委員会の点検・評価報告書につきまして、教育委員会として決定してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

では、原案のとおり決定します。この決定を受け、教育委員会の点検・評価報告書を全市議会議員へ配布するとともに、ホームページで公開をします。

続きまして、議事報告です。報告第3号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について、教育総務課参事給食センター所長の説明をお願いします。

○ 報告第3号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について

《教育総務課参事（給食センター所長）の説明概要》

豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について、資料に基づき説明する。

P T A役員以外の委員は決定していたが、この度、P T A役員6名の推薦があり、委員として任命することを報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

では、豊岡市学校給食センター運営委員会委員を任命することをご承知おきください。

続きまして、報告第4号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第4号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄付物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体7件、個人5件、合計12件、172万6千円相当の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

日高小学校の箏ですが、これは寄附をされただけですか。それとも、寄附をされた方が機会があれば教えてくださるということはあるでしょうか。

(教育総務課長)

そこは確認できておりませんの、改めてご報告させていただきます。

(教育長)

日高小学校に箏部、箏クラブはあるのでしょうか。

(こども教育課長)

学校によってはあるところもありますが、日高小学校にあるかは確認していません。

(教育長)

ではまた調べてください。

(成田委員)

日高西中学校に現金寄附となっておりますが、この現金はどのような取り扱いになるのでしょうか。

(教育総務課長)

6月補正予算で対応しておりまして、歳入として市会計に100万円入れ、市の予算で楽器の購

入、修繕をさせていただくことになります。

(飯田委員)

現金で寄附をという申出でしょうか。

(教育総務課長)

今回は、寄附者からどのようなかたちで寄附するのがよいか、学校に打診があり、相談の結果、現金で受け、市の予算とし備品購入を行うことになりました。

(飯田委員)

これは、市の感謝状等の対象になるのでしょうか。

(教育次長)

30万円以上300万円未満の寄附が感謝状贈呈の対象となります。300万円以上の寄附は、功労者表彰の対象となります。

(教育長)

その他はありませんでしょうか。

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第5号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定についてです。こども教育課参事の説明をお願いします。

○ 報告第5号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について

《こども教育課参事の説明概要》

今年度、日本PTA協議会の全国研究大会が兵庫県で開催される。参加者の負担を軽減するため、今年度に限り、参加に係る費用を補助金に加算することができるよう要綱の改正を行った。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

どのような会議でしょうか。

(こども教育課参事)

県下いろいろなところで分科会が開催され、但馬は朝来会場になります。分科会ごとに、それぞれのテーマを取り上げて分科会を実施します。翌日に神戸で全体会が開催され講演や研修に参加することになります。

(飯田委員)

何日間か期間があって、会場を分散しながらということですか。

(こども教育課参事)

8月23日(金)、24日(土)の二日間です。初日に分科会があり、翌日に全体会があり、どちらにも参加いただくことになります。

(飯田委員)

その分科会、全体会に豊岡の各PTA役員が参加されるということでしょうか。

(こども教育課参事)

PTAの方々に研修として出席していただくことになります。

(教育長)

参加費が要りますので、今回、予算措置をして要綱も改正し、PTA役員の方に参加をしていただきます。また、大会のレジメをお配りしますので一度ご覧ください。

それでは、豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第6号 教育長が臨時に代理した令和元年度6月専決補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについてです。教育総務課から順に説明をお願いします。

○ 報告第6号 教育長が臨時に代理した令和元年度6月専決補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて

《教育総務課長の説明概要》

教育長が臨時に代理した令和元年度6月専決補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて、資料に基づき説明する。

歳入は、寄附物件の受納で報告しました、日高西中学校の楽器購入・修理に対しての100万円の寄付金である。

歳出は、小学校29校のうち25校、中学校全9校分の特殊建築物等定期調査報告業務の委託費である。3階建て以上の建物、もしくは、2,000㎡以上の施設では、3年ごとに点検が必要となるが、当初予算から漏れており補正予算での対応となった。

《こども教育課長の説明概要》

歳出は、放課後の算数・数学の補充学習事業を行う「とよおかがんばりタイム事業」を実施しており、県の委託事業であり県委託金が減額となったため減額補正を行った。

次に、演劇的手法を活用した小学校低学年児童を対象にした非認知能力向上事業に係る費用を計上した。本年度モデル校2校(三江小学校、資母小学校)で実施する予定である。

次に、県ゆかりのオリンピック・パラリンピック選手の技術や経験に触れることにより、子どもたちのスポーツに親しむ態度を育てていくことや国際的理解に対する推進を図るという県のオリンピック・パラリンピック競技推進事業がある。平成30年度から始まった事業で、今年度、豊岡市で受けることになり、それに係る費用を計上した。

また、日高西中学校に対しての寄付金を楽器購入に700千円、修理に300千円として歳出に計

上した。

歳入は、がんばりタイム事業の委託金減額とオリンピック・パラリンピック推進事業の開催事業委託金である。

《こども育成課長の説明概要》

歳出は、10月から予定されている幼児教育・保育の無償化に対応するためのパッケージ費用と、そのパッケージを反映するためのシステム改修の業務委託料を計上した。

次に、西保育園の保護者送迎用の駐車場用地借上げとその整備にかかる費用である。現在、西保育園は保護者送迎用の駐車場が6台しかなく、特に朝夕の時間帯には保護者の車で周辺道路が渋滞しており、近隣住民からたびたび苦情があった。また、警察等からも指摘を受けるなど駐車場の確保は急務となっていた。近隣の地権者2名から土地を借りられることになったため、送迎用駐車場を新たに整備したいと考えている。

歳入は、幼児教育・保育の無償化に伴うシステム改修経費に対する国の補助金である。システム改修に係る経費は全額、国の補助がある。

(教育長)

ご質問はありませんでしょうか。

(飯田委員)

西保育園の送迎については、ずっと以前から車が多い状態で何回か要望があったということですか。

(こども育成課長)

そうです。朝の通勤時間帯に抜け道として使われる方もあり、かなり周辺は混雑していると聞いております。

(飯田委員)

当初予算でないのは、近隣の地権者から借上げができる状況になったため補正予算になったのですか。

(こども育成課長)

近隣の地権者と協議が整い、借りられる目途が立ちましたので補正予算での対応となりました。

(教育長)

その他ありませんでしょうか。

では、令和元年度6月専決補正教育関係予算案に関する意見について、教育長が代理執行を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第7号 令和元年6月市議会答弁概要について、教育次長の説明を求めます。

○ 報告第7号 令和元年6月市議会答弁概要について

《教育次長の説明概要》

令和元年度6月市議会の答弁概要について、資料に基づき説明する。

【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

では、日程第6 教育委員会事務局の報告です。はじめに、教育総務課(1)教育懇談会の開催について、教育総務課長の説明をお願いします。

1 教育総務課

(1) 教育懇談会の開催について

《教育総務課長の説明概要》

教育懇談会について、資料に基づき説明する。

コミュニティ組織の代表者、PTA会長・役員の方々、区長・町内会長に出席依頼を行った。

また、豊岡きょういく、市広報6月25日号、市ホームページに教育懇談会について掲載した。開催にあたり、7月12日に教育委員の皆さまの事前学習会を開催する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

続きまして、こども教育課(1)問題行動等の状況について(2)令和元年度教科書展示会について(3)令和元年度学校園訪問日程について こども教育課長の説明をお願いします。

2 こども教育課

(1) 問題行動等の状況について

《こども教育課長の説明概要》

問題行動等の状況について、資料に基づき説明する。

(2) 令和元年度教科書展示会について

《こども教育課長の説明概要》

令和元年度教科書展示会について、資料に基づき説明する。

6月14日(金)から6月30日(日)まで、市立図書館本館2階の展示ホールで、時間は午前10時から午後6時まで実施している。

(3) 令和元年度学校園訪問日程について

《こども教育課長の説明概要》

令和元年度教育委員による学校園訪問の日程案について、資料に基づき説明する。

各委員がどの地域にもバランスよく訪問できるよう日程案を作成している。都合が悪い日があれば連絡をいただきたい。

(こども教育課長)

県外で児童が巻き込まれる事件や市内の不審者情報があり、学校園では、登下校時の安全パト

ロールや立ち番指導の実施、教育活動中に子どもの状況をしっかり把握すること、学校園への出入り口等の校舎の施設管理について対応いただいています。

また、前回の定例教育委員会会議で携帯電話・スマートフォンの所持率について質問がありました。平成 30 年度に実施した「くらしのアンケート」の中で携帯電話等の所持について調査しており、小学生全体で所持率は 26.7%でした。学年別では1年生で 14.9%、2年生で 14.1%、3年生で 29.1%、4年生で 27.8%、5年生で 35.6%、6年生で 38.0%でした。2年前の調査より、5年生で約 4%、6年生で約 6%、所持率が高まっています。中学生全体で 52.3%、2年前の調査では、39.3%でしたので、かなり所持率が高まっています。

(教育長)

ここまでの説明についてご質問やご意見がありましたらお願いします。

(佐伯委員)

問題行動の報告の中でありました、火遊びをしていた子どもですが、これはどこで遊んでいたのでしょうか。

(こども教育課長)

最後に発覚したのが神社で、神社と墓地があるところでした。繰り返し火を使って遊んでいたため問題行動としています。

(向井委員)

スマートフォンの所持率ですが、小学校低学年ですごく高いと思いますが、ガラケーではなく、スマートフォンなののでしょうか。

(こども教育課長)

アンケートでは、携帯電話もしくはスマートフォンを持っているかという質問ですので、どちらを所持しているかはわかりません。子ども用携帯もこの所持率に入ってくると思います。

(成田委員)

携帯電話は学校に持って行ってもよいのでしょうか。

(こども教育課長)

豊岡市においては、中学校までは不必要な携帯は持たせないとなっています。基本的に、携帯電話の持ち込みはできません。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

続きまして、(4) 豊岡市こども支援センター 5月の活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

(4) 豊岡市こども支援センター5月の活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

こども支援センターの活動状況について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、通級指導生徒数が実数で先月と同じ5名、毎日来ている生徒は3名である。学校との連携は、ふれあいルームに通級している子どもの在籍校の教師が来校したり、在籍校への訪問や相談の件数を計上している。ふれあいルームに来ている生徒以外にも、それぞれの学校で別室登校や放課後登校など不登校児童生徒への対応や家庭との連携にも取り組んでいる。

特別支援の取組状況は、昨年と比べて、18件増の103件、検査は7件実施している。先月と同じく、小学生の来所相談が増えている。

家庭児童相談の取組状況は、児童虐待の実件数は40人であるが、実家庭数では20世帯である。うち通告があったものは1件である。学校からの通告であり、母のネグレクトとして受付を行い、現在、こども家庭センターと協議しながら対応にあたっている。ケース検討会議は、2世帯4児童について、関係機関が集まり今後の対応について協議を行った。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

それでは、こども育成課 (1) 豊岡市子ども・子育て会議委員の交代について、こども育成課長の説明をお願いします。

3 こども育成課

(1) 豊岡市子ども・子育て会議委員の交代について

《こども育成課長の説明概要》

子ども・子育て会議委員の交代について、資料に基づき説明する。

幼稚園PTAと豊岡市区長連合会選出の委員の交代である。委員の任期については、前任者の残りの期間となり、いずれも来年の6月30日までとなる。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。それでは、これで各課からの報告を終了いたします。

【日程 第7 委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程第7 委員活動報告に移ります。短時間で結構ですので、感想を含めて、活動で感じられたことがありましたら、お願いしたいと思います。

(飯田委員)

最近、野菜がぐんぐんと大きくなりますけど、その中で、時々手をかけた野菜と草の中で全く手をかけていない野菜、様々ですが、やはり教育も一緒だなと、教育も少し適度な手をかけるということは大事だなと思っておりました。

昨日、要保護児童対策協議会代表者会議に出席しました。その中で生々しいケースを聞かせてもらい、改めて家庭というものを考えなければいけないと思いました。教育を一生懸命やっても、家庭の教育はどこがやっているのかということのを思いながら聞いていました。今、高齢者は高齢

者の悩みや問題が起き、教育環境の悪い家庭においては核家族によっていろいろな問題も起きています。これは社会全体の問題だということを考えながら出席しました。やはり、家庭も社会教育も大事であるということを改めて思いますが、そこを行政なり国の施策の中でどうするのかを考える必要があると思いました。

それから、トライやる・ウィークを視察させてもらいました。子どもたちががんばっている様子で、但東町の但熊では、子どもたちはどこにいるのかなと思ったら、従業員さんの中に溶け込んでいて、ユニフォームも身に付けていて、子どもたちの顔色が非常に良かったなあと思いました。トライやる・ウィークが義務的なものではなく、自分が参加したいと思いつていることが、子どもの顔色から「楽しそうにやっているな」ということわかり嬉しかったです。

(向井委員)

自然学校の視察に行かせてもらいました。奈佐森林公園での五荘小学校の様子を見て、先生方の事前の準備がとても素晴らしいと感心しました。朝食の準備の際には、必要な道具や作り方の手順などが班ごとに写真付きで提示されていました。また、焼き板作りの作業をしていましたが、児童が見えるところに時計が置いてあり、自主的に行動できるようにといろいろ工夫されていたので、みんな5分前行動ができていました。言わなくても見通しが利くようにと準備された先生方のおかげで、大人数であっても、ゆったりした流れの中で子どもたち、先生方もみんなが本来の活動に専念できていたのだなと思いました。

それから、「登園・退園管理アプリ」を使って、認定こども園の子どもたちの登降園支援をしているという記事が新聞に載っていました。保護者の利便性や先生方の業務軽減に役立っていて、とてもいいことだなと思う反面、日頃から先生と保護者が直接顔を見て話をしていく中で、お母さんの気持ちや家庭の様子、生活の変化などが感じ取れるのではないかと思います。アプリだけに頼ることはないとは思いますが、対話をすることも大切にしながら活用してほしいと思いました。

おんぶの祭典はとても素晴らしい活動だと思いました。以前は、この豊岡で子どもが生音楽に接する機会はありませんでした。碓井さんはじめ、演奏者の方々が子どもたちのために一所懸命演奏されている姿に感動しました。竹野南小学校の演奏会では、全校生が少ないこともあると思いますが、碓井さんが子どもたちに目の前まで「おいでおいで」と言ってくださり、間近でピアノの演奏に接したり、バイオリンを体験させていただいたり、子どもたちのために一生懸命にしてくださることに感動しました。碓井さんは、「子どもの一生の記憶に残るように音楽を身体で体験して欲しいと思い演奏しました」とおっしゃっていました。こういう素晴らしい演奏家の方たちとのご縁を大切にしていきたいなと思いました。

ファミサポのまかせて会員に入っていて、先日初めて1歳半の女の子を預かりました。事前にお母さんと打ち合わせがあり、預かることについてお母さんと書面を交わしたりしました。預かることでお礼としてお金をいただくことになるのですが、直接だともらいにくいなと感じました。

(佐伯委員)

トライやる・ウィークと自然学校、おんぶの祭典で子どもたちが活動している現場を視察させていただきました。どの場所でも子どもたちがいきいきと、いつもと違った環境の中で、元気に活動している姿を見て、とても安心しましたし、嬉しかったです。

特におんぷの祭典では、竹野南小学校に行かせていただきましたが、全校生徒 20 数名が近く、普段は触れないような楽器を実際に触って、弾いていいよという感じで、貴重な体験ができるのは素晴らしいなと思いました。これからもおんぷの祭典は続けていただきたいと思います。竹野南小学校のような小規模校ではこのような贅沢な体験ができるのですが、人数の多い大きな学校で行われたとしても、同じような体験ができるような、何か工夫をしていただきたいと思います。

最近、怖いニュースや事件が増えています。先週、豊岡でも刃物を持った人がいるという情報がありましたが、私はその情報を自分の子どもが通っている学校のメールで知りました。そのメールには時間の空いている保護者の方は通学路で見守っていただきますようにと書いてありました。このような事件が起きて、警察も動いているような事案でしたら、教育委員にも連絡をいただきたいと思います。

(成田委員)

過日、文化協会の仕事をしていた関係で、川柳の本を送っていただき、その中に子どもたちの川柳がありました。港西小学校や港東小学校が一生懸命にやっているようです。教育委員になったということもあり、子どもがどんなことを書いているか興味を持ってみました。その中に、「新しい」というお題の川柳があり、「六年生 新しいぼく 始まりだ」というのがありました。これは私の心境とピッタリだなと感じ、いいなと思いました。

トライやる・ウィーク、自然学校の視察に参加させていただきました。各委員さんからも報告がありましたが、視察をしているうちに自分が新しい職場体験をしているような、子どもたちと同化したような気分になり新鮮な気持ちでした。自然学校では、子どもたちの生き生きとした表情が見られて、とてもよかったなと思いました。自然学校実施に際しては、先生方のいろいろな準備、それから、子どもたち個人の参加に係るいろいろな問題や全体的な課題というものもあったかと思います。これから課題等も見せていただけたらと思いました。トライやる・ウィークでは、生徒が少し緊張した気分で仕事をしている姿を見て、新鮮な感動を覚えました。受け入れる側の企業も一所懸命伝えようとする努力が伝わってきました。トライやる・ウィークは、家庭、地域、学校の三者が協力して、中学生に力を付けていくことがいちばん大事なのでしょうか、三者が活性化されていく、そういうことも評価していかなければならないと思いました。

教育委員として教科書選定に関わることになり、教科書の展示にも行ってみようと思います。新米教育委員ですが、少しずつ勉強していきたいと思います。

(教育長)

質問や意見がありましたが、こども育成課長から説明はありますか。

(こども育成課長)

ファミサポのお金の件ですが、これは、利用料金ではなく、お礼という意味で頼まれた会員さんにお渡しいただいています。1回だけの依頼ならよいですが、何回も依頼するとお願いする方もお礼について考えられると思います。それによって、頼みにくくなることも発生するので、安い金額ですが目安の金額を渡していただいて、気兼ねなくお願いできるようさせていただいています。

(教育長)

佐伯委員からありました防犯の関係ですが、教育委員に連絡がなかったことについて、緊急を要することや全市的に動くような事案については、一報をくださいという話ですね。

(教育次長)

今後は、教育総務課を通じて、教育委員の皆様と連絡をさせていただきます。今回は、連絡ができておらず大変申し訳ありませんでした。

【日程 8 教育委員会活動予定】

(教育長)

次に、日程第8 教育委員会活動予定に移ります。次回の教育委員会会議予定、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

次回の第4回定例教育委員会会議は、7月19日(金)午後1時30分から本庁舎3階庁議室で開催する。

第5回の8月定例教育委員会会議は、8月22日(木)午前9時30分から、第6回の9月定例教育委員会会議は、9月25日(水)午後2時からとし、会場は決定次第連絡する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

以上で日程終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

(飯田委員)

ある社会福祉法人の評議員会があり、保育士が非常に少ない、また、正職員が少なく非常勤職員がすごく多いとの話がありました。その法人の理事長の話によりますと、市の保育士は数名採用されたと、応募は結構あり、不採用となった保育士がたくさんいるのではないかと。市職員としてでなくても、せつかく保育士の資格を取った人たちをなんとか豊岡に引き止めることができないだろうかという話がありました。連絡協議会のようなものがあるので、そこで、市の保育士には採用されなかったが、市内にはこんな保育園がありますということを伝え、保育士を確保することはできないだろうかということです。そんなことは難しいのでしょうか。

(教育次長)

市の保育士募集にどなたが応募されたかということ公表することはできません。現状としては、市の臨時職員や法人で働いている職員が正規職員を目指して市へ応募されるという方が比較的多いです。もしかすると、その法人の臨時職員の方も受けていらっしゃる可能性もありますし、

全員が今現在勤めていない、例えば、新卒の方というわけでもないと思いますので、なかなか難しいと思います。

(飯田委員)

その法人には 30 人ほどの保育士がおられて、正規職員は 9 人、20 数人は非常勤職員であると聞き、そのような状況で園としての運営がスムーズにできているのかなと思ってしまいます。園として運営していく安全面や統率性などを考えるときに、30 人ぐらいの職員がいるのに 3 分の 1 が正規職員、3 分の 2 が非常勤職員というバランスが少し気になりました。正規、非常勤に関わらず家庭訪問もしますよと園側はおっしゃいますが、正規職員になぜならないのかなと思い、気になりました。

(教育次長)

非常勤職員の方が正規職員を望んでおられない場合もあるかと思います。

(飯田委員)

正規職員にならないと言っておられる方もあるようです。保育園というのは早朝保育や延長保育もあり通常の勤務体制とは違うところもあると思います。自分の働き方を求めて、正規職員にはならず、非常勤職員のままでいいと思っておられる方もあるようで、個人的に疑問に思いました。

(教育次長)

豊岡市も正規職員と臨時職員があり、議会でも質問をいただきます。子どもの人数に対して資格がある保育士を何人置くという基準がありますので、その法人もその基準は最低限クリアされていると思います。保育士の中でも、いろんな事情があって、正規職員として長い時間働けないが資格もあるので働きたいという方や自身の子どもさんが小さいため昼間の短時間は働けるので、少しでも役に立ちたいという思いの方もあると思います。家庭の事情や中には違うこともしたいという思いの方もあるかもしれません。今はそういった働き方も認めていこうという考え方もあります。例えば、非常勤職員でも資格がある非常勤職員の方、資格がない非常勤職員の方、いろいろいらっしゃると思いますので、そういう方を調整しながらその法人もやってらっしゃると思います。ご本人が非常勤職員の方がいいとおっしゃっている場合には、それぞれの状況があるのではないのかと思います。いろいろな働き方の選択も止むを得ないと思います。

(飯田委員)

保育士が不足している状況がどの園でもあると聞きます。その一方で、市の正規の保育士募集には多くの応募があり、うまく調整できないものかと思いました。

(教育長)

それでは、次回の会議は 7 月 19 日 (金) 午後 1 時 30 分から、本庁舎 3 階庁議室で開催します。これもちまして、第 3 回定例教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午後3時20分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

令和元年6月26日

教育長

委員